

安全管理 視認性を考慮した規制方法 ～3車線道路規制における視認性の向上～



平成29年2月7日
H28高岡・能越管内橋梁補修工事
道路技術サービス株式会社
現場代理人 後田 知之



発表内容

1. 工事概要
2. 工事实施における課題
3. 課題に対する取組み
 - ①歩道設置看板の嵩上げによる視認性の向上
 - ②中央分離帯設置看板の視認性の向上
 - ③移行区間の明確化
 - ④交通誘導員の増員による視認性の向上
 - ⑤安全パトロールによる規制実態の確認
4. 対策による結果

1. 工事概要

本工事は道路の保全を目的とし、橋梁損傷箇所の補修及び老朽化した附属物の更新を行うものです。

施工箇所 高岡・能越管内5橋

国道8号 江尻高架橋(上り・下り)

今回の発表箇所

若富小橋、角高架橋(上り)

国道156号 一文橋

国道160号 上庄川橋(上り)

主要工種

伸縮装置更新工,分離帯目地止水工

表面含浸塗布工,吊り足場工



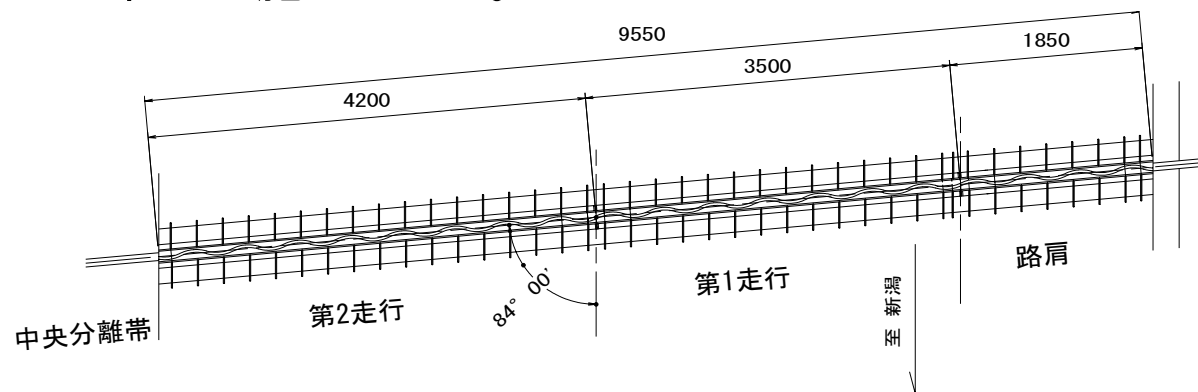
1-1. 国道8号江尻高架橋(上り)工事概要

工事内容

伸縮装置更新工 L=153m

分離帯目地止水工 L=295m

- ・伸縮装置更新工を行うにあたり車線規制が必要。
- ・交通量の多い区間ではあるが、住宅や病院が近い為コンクリートはつり時の騒音対策のため夜間ではなく日中での施工とした。



1-2. 施工箇所の特徴

- ・交通量の非常に多い区間(昼間交通量35,730台/12時間)
- ・高架橋1km手前より片側3車線であり
第一走行車線はオフランプに
第二、第三走行車線は高架橋へと分岐
- ・施工箇所が曲線区間

工事箇所1km手前 高岡市木町交差点



江尻高架橋手前の分岐点



2. 工事実施における課題

①第一・第三走行車線を走る車両の影に注意喚起看板が隠れ、第二走行車線から見えない。

②中央分離帯の植栽により注意喚起看板が隠れる。

③施工箇所は曲線区間のため規制箇所の認識が遅れる。



追突事故に
繋がる恐れあり

課題 ↓

規制箇所の視認性を高める。



3. 課題に対する取組み

①歩道設置看板の嵩上げによる視認性の向上



単管バリケードを用いて
看板の高さを通常より1.5m上げた。

② 中央分離帯設置看板の視認性の向上



中央分離帯植栽帯部



高輝度LED点滅灯と
回転灯の設置

③ 移行区間の明確化



NETIS KK-150051-A

日中においても約1kmの
視認距離がある
高輝度LED警告灯を
各矢印板に配置



③ 移行区間の明確化(動画)



④ 交通誘導員の増員による視認性の向上



予告誘導員



文字入り誘導旗の使用



移行区間開始地点



交通誘導員の増員

移行区間開始
地点の交通誘導員
及び予告誘導員は
**文字入り
誘導旗で
ドライバーに注
意喚起**を促した。

交通誘導員を規制の
**移行区間開始
地点に増員**し、
更に移行区間の明確化
を図った。

⑤ 安全パトロールによる規制実態の確認

規制開始 直前・直後の パトロール

による
安全施設の確認。

実際に走行を行い
動画を撮影して
規制形態・看板の
視認性等を確認。

8:30規制前点検

9:00規制開始

9:15規制直後点検



⑤ 安全パトロールによる規制実態の動画確認



4. 対策による結果

以上の対策を行った結果、無事工事を終える事ができました。

改善効果

- ①注意喚起看板、規制形態共に離れている箇所からでも確認する事ができました。
- ②一般車の車線移動も以前に比べスムーズになりました。
- ③規制箇所を明確にした事により追い抜きをかける車両が減少しました。
- ④一番効果があった対策は注意喚起看板の嵩上げによる視認性の向上です。